

初当選を決め娘の萌さんから花束を受け取る黒木氏。左は母道子さん(16日、椎葉村下福良の選挙事務所)



# 黒木氏が初当選

## 椎葉村長選 無投票で決まる

### 支持者ら祝福、喜び分かち合う

任期満了に伴う椎葉村長選が15日に告示され、前副村長の黒木保隆氏(66)＝無所属＝のほかに立候補の届け出はなく、同氏の初当選が無投票で決まった。同村長選の無投票は2期連続。

黒木氏は、3月11日まで行われていた村議会3月定例会の閉会後、議員に村長選に挑戦すること、辞職願を椎葉村長宛てに提出したことを伝え、出馬を表明した。

15日は、村役場駐車場で出陣式を行い、集まった約150人の支持者に支援を呼び掛けた。その後、選挙カーに乗り込むと村内をくまなく回り、立候補受け付けの締め切りの午後5時を過ぎても遊説を行った。

選挙事務所に戻って来たのは同5時40分ごろ。集まった支持者らに祝福を受けると共に、万歳三唱で喜びを分かち合った。

尾前秀久後援会長は「村民の幸せのために精いっぱい頑張る村長になってくれると信じている」。椎葉晃充村長は、「これから十分に村民の方々の意見を聞き、自分の思いを村民に訴え、議会の皆さんと共に素晴らしい計画を打ち立て、実行していただきたい。私も晴れ晴れとした気持ちで、優秀な村長が生まれました。安心して任じていけることを激励した。

黒木氏は「十数カ所を遊説させていただき、これだけの人が集まってくれるのかと本当に胸にしみるものがあった。その責任の重さをひしひしと感じている。村

民の声に真摯(しんしん)に寄り添い、椎葉ならではの行政を突き進んでいきたい」と決意を述べた。

14日現在の選挙人名簿登録者数は、23332人(男性11822人、女性1150人)。当選証書の付与式は、21日午前10時から村役場3階大会議室で行われる。

【略歴】同村上椎葉出身。延岡西高卒後の1973年4月に役場入り。税務(現税務住民)課長、議会事務局長、福祉保健課長、総務課長などを歴任し、2011年7月から今年3月まで副村長を務めた。

## 黒木氏に聞く

任期満了に伴う椎葉村長選は、前副村長の黒木保隆氏が無投票で当選した。4年間の抱負や決意を聞いた。

24年ぶりの新村長です。今の気持ちは、

事の重大さを非常に感じている。椎葉晃充村長の偉大さに比べられたらとてもかなわない。しかし、自分は自

分なりのやり方であっていき。それは、村民の皆さんと真摯(しんしん)に向き合うこと。地域づくり懇談会も姿

無投票での初当選でした。私自身、投票という戦いの経験がなく、どうしようものなのか経験

りした。集まってくれたその人数の多さに改めて村長の責任の重さを感じた。期待されているからこそ、多くの

### 何事にも謙虚でありたい

### 住んで良かった村の実現へ

を少し変えて、もっと声が聞けるような形にしたい。とにかく、村民の意見を聞くという姿勢を忘れずにとっていきたい。

者の感想を聞いたことがある。実際、自分がこの立場になり、どうなるのだろうという思いはあったが、遊説させていただき、びっく

人たちに集まっていたのだと思っている。4年間で注力するところは、まずは人口減少問題であり、その中でもU

次期村長としての抱負を語る黒木氏(15日、椎葉村下福良の選挙事務所)



ターナー支援に取り組みたい。国県の支援は、

給付金制度になっていくので、それになぞった形で行っていきたい。コワーキングスペースなどを要する村の交流拠点施設「katherine(かてりえ)」もあり、昨年は、キャスター社とリモートワーク推進に関する連携協定を結んでいる。リモートワークやワーケーション推進地として全国に認識してもらえよう、キャスターと連携し取り組みを充実させれば、雇用の面で

も期待はできるのではないかと。中学生と村内の大人が意見を交わす「未来づくり対話会」も開始から5年がたつので、そろそろ成果が出るはず。私自身が若い世代と触れ合う機会も増やしたいと思う。抱負をお願いします。入行以来「公平公正を村民に届ける」という思いをやってきた。その思いは、強くなっている。とにかく何事も謙虚でありたい。口では言えるが、できるかどうか。村政に関しては、まず、椎葉村長がつくってきたものを守っていくこと。住んで良かった」という村の実現に向けて、これまでの取り組みを継承していく。一方で、総合戦略は現在策定中なので、Uターン者への取り組みはもちろん、今住んでいる人たちの満足を得るため、さらに戦略に磨きをかけて前進していきたい。